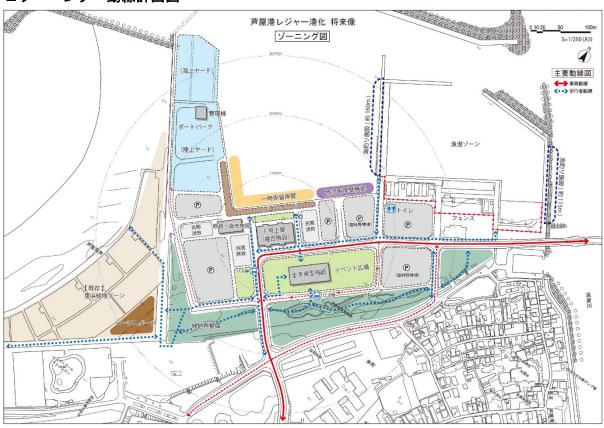
5 将来像

□施設配置計画図



□ゾーニング・動線計画図



□鳥瞰パース(将来像)





ロアイレベルイメージパース(全天候型施設と1号上屋を望む)



□アイレベルイメージパース(後背地から飲食・直売施設、1号上屋、全天候型施設の 3施設を望む)



6 今後の検討課題

今後の検討課題を次のように整理しました。

検 討 課 題	概 要
港湾計画の改定	レジャー港化にあたっては、「芦屋港港湾計画」の改定が前提
	となります。港湾計画の改定は福岡県が行うもので、規定に
	基づく手続きに時間を要するため、早期に関係者との協議・
	調整を行い、推進する必要があります。
管理運営方法と運営主体	施設の管理運営を担う組織として、まちづくり会社の仕組み
	が適切と考えられますが、芦屋町において新たに設立するに
	あたっては、関係者協議の場の設置や詳細な検討が必要とな
	ります。
町民の機運醸成と担い手	レジャー港化を推進するためには、町民の機運を高めていく
の育成	ことが重要となります。また、機運醸成や持続可能な事業を
	推進していくために、キーパーソンとなる人材の発掘や育成
	も必要となります。
民間誘致やテナント募集	レジャー港化にあたっては、可能な限り民間活力の活用を前
のための環境整備	提としています。民間事業者の出店ニーズを高めるために、
	年間を通じた賑わいや魅力の創出などを推進する取組が必
	要となります。
芦屋町の観光施策と一体	レジャー港化は、芦屋町の観光施策のひとつであり、観光ま
となった事業推進	ちづくりのための各種施策と一体となった事業の推進が必
	要となります。このため、庁内関係部署との連携、芦屋町観
	光協会や芦屋町商工会、観光あしや協議会など各関係団体や
	芦屋町内事業者と連携を密に図る必要があります。

7 施設整備年次計画

芦屋港の整備にあたっては、工程表のとおり第1期から第3期まで大きく3つの段階に 分けた段階的な整備を行います。

ただし、整備にあたっては社会経済環境の変化や関係者協議の進捗、財源確保などの要因から変更となる場合もあります。

